

RECARO FORMEL 3 CUP (ドイツF3) Round 7&8 in Nurburgring

第7戦 予選 レポート

5月27日(土) 公式予選結果 11位 (1分32秒809) / 出走29台

【公式予選】 09:05 ~ 09:35

レカロF3カップ第7戦の公式予選が午前9時05分より30分間に渡って行われた。昨日から降り続いた雨は明け方には止んだものの、今にも降り出してきそうなどんよりとした雲が空一面を覆う、肌寒い天候となった。

路面コンディションは依然ウェット。しかし、F3の公式予選に先がけて、ADACプロカーシリーズの公式練習が行われたことにより、レコードラインは少しずつではあるが乾き始めていたため、各チームともタイヤの選択やマシンセッティング、そして予選中のドライタイヤへの交換のタイミング等、微妙な天候に頭を悩ませていた。

今回急遽ダラーF304により参戦が決まった松村選手は、新品のウェットタイヤを装着し、9時05分開始のグリーンライト点灯とともにコースイン。序盤はコースの随所に濡れている部分が残る滑りやすいコースコンディションとなったため、慎重に新品タイヤの皮むき及びタイヤを暖める作業を行い、タイヤの暖まりとともに徐々にペースを上げていった。中盤に差し掛かった時点では15~16番手付近のタイムで走行していた松村選手は、残り時間が15分を切ったところで、コースが乾いてきたことと、上位の数台がピットインし始めたということを確認し、ここがタイヤ交換のタイミングであるという、自身の判断でピットイン。チームクルーにスリックタイヤで走れる状況になったことを説明すると、ピットクルーは松村選手の判断に答え、即座にタイヤ交換を開始。迅速な作業により、僅かな時間でアタックを再開した。

コースイン直後は、まだコース上の数箇所に濡れている部分が残っており、滑るマシンを何とか抑えながら、このレースウィークでは初装着となったスリックタイヤを暖めていった松村選手。コースインから3周目に1分38秒台にタイムを乗せ、続く4周目には36秒台へと突入していった。この時点でトップの数台は既に34秒台のタイムをマーク。松村選手は残り周回が3周となったところでトップ5を目指しての本格的なアタックを開始した。「このペースで行けば31秒台前半は確実に狙える」とピット内でもスタッフ一同がラップモニターへ釘付けとなっていたが、しかし予定の時間になっても松村選手のマシンは最終コーナーから姿を現さず。「一体どうしてしまったのか？」とメカニックが不安そうな面持ちで最終コーナーをじっと見つめていると、約25秒遅れで松村選手がコントロールラインへ戻ってきた。チームクルーが見守る中、ラスト2周のアタックへと入った松村選手の直ぐ後ろには目下ポイントランキングトップのTung選手が続いていたが、果敢にアタックを続ける松村選手とTung選手の間隔はほとんど変わらず。「このままコントロールラインへ戻ってくれば一気にポジションを上げられるのでは？」と期待が更に膨むものの、6コーナーを過ぎたところでまたしても痛恨のスピン！残り1周となった松村選手は最後のアタックに全神経を集中させ、今度こそはと各コーナーを攻めまくり、スピンすることなく無事コントロールラインへと戻ってきた。結果、タイムは1分32秒809、順位は12番手であった。ラストラップのアタック中に、スピン、コースアウトするマシンが発生、黄旗が提示されたことで、ペースダウンを余儀なくされたが、黄旗提示期間までに大幅なタイムアップをしており、結果的にラストラップがベストタイムとなった。予選終了後、黄旗提示期間中のベストラップタイムに関する協議が審査委員により行われ、11番手のチームメイト Thomaz 選手にペナルティーが課せられたため、松村選手は11番手に繰り上がった。

予報では、天気は快方に向っており、決勝はドライコンディションが予想される。第7戦の決勝レースは、現地時間の14時30分から25分間に渡って行われる。

< 予選後のドライバーコメント >

難しいコンディションでした。折角のスリックタイヤで今回は上位にいける！と思ったのですが、スピンをしてしまい、「まだまだ詰めが甘い」と反省しております。決勝レースでは、一つでも順位を上げ、何とかポイントを獲れるよう頑張ります。そして明日につながる良いレースにしたいと思います。応援宜しくお願いします！

予選結果表 : <http://www.formel3.com/ergebnisse/2006-05-28-q1.pdf>

第7戦 予選

出走 29台

POS	No.	DRIVER	NAT.	TIME
1	27	R.Azzoli	ITA	1:29.948
2	8	R.van der Zande	NED	1:30.778
3	25	N.Hulkenberg	GER	1:30.873
4	46	H.Schlegelmilch	LAT	1:31.354
5	5	F.Kool	NED	1:31.436
6	3	J.Foster	GBR	1:31.596
7	6	H.P.Tung	CHN	1:32.041
8	31	C.Jons	GER	1:32.114
9	41	J.Theobald	GER	1:32.326
10	42	R.Wechselberger	GER	1:32.483
11	56	H.Matsumura	JPN	1:32.809



レーシングドライバー 松村浩之 オフィシャルウェブサイト

<http://www.hiro-matsumura.com/>